

プラシャーンティ・ニラヤム・ガイド（2024年2月現在）

シュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラストのHPから

内容

[プラシャーンティ・ニラヤム・ガイド\(2024年2月現在\) 1](#)

[至高の平安の住居 3](#)

[アシュラム訪問者に対するババの指針 3](#)

[プラシャーンティ・ニラヤムの毎日のスケジュール 4](#)

[活動内容の説明 5](#)

[オーム・カーラ： 5](#)

[スップラバータム： 5](#)

[ヴェーダ詠唱： 5](#)

[ナガラサンキールタン： 5](#)

[バジャン： 5](#)

[アーラティ 6](#)

[アシュラム内での規律とエチケット 6](#)

[服装のガイドライン 7](#)

[アシュラム内での男性の服装： 7](#)

[アシュラム内での女性の服装： 8](#)

[サイ・クルワント・ホール内への持ち込みが禁じられている物 9](#)

[貴重品用ロッカー 9](#)

[注意事項 9](#)

[自称仲介者に注意 9](#)

[無認可のトラスト（信託）／団体に注意 10](#)

[公式ロゴと商標 10](#)

[アシュラム内の施設 11](#)

[パブリック・リレーションズ・オフィス 11](#)

[エマージェンシー&セキュリティ・オフィス 11](#)

[車椅子の貸し出し 11](#)

[クローク 12](#)

[携帯電話専用クローク 12](#)

[貴重品専用ロッカー 12](#)

銀行 12
ATM 13
ショッピング・センター 13
ブックストア 14
図書館と読書室（リーディング・ルーム） 14
テレフォン・ブース（公衆電話） 14
メンテナンス・オフィス 15
ジェネラル・ホスピタル（総合病院） 15
スーパー・スペシャリティ・ホスピタル（高度専門病院） 15
公認ドービー（洗濯サービス） 16
公認ポーター 16

食事 16

サウス・インディアン・キャンティーン 16
ノース・インディアン・キャンティーン 17
ウェスタン・キャンティーン 17
スナック・カウンター（軽食） 18
ベーカリー（パン屋） 18

アコモデーション(宿泊施設) 18

宿泊予約 19
非インド人帰依者および海外に居住するインド人帰依者の場合 19

プラシャーンティ・ニラヤムへの行き方 22

陸路で行く場合 22
電車で行く場合 22
飛行機で行く場合 22

アシュラム周辺にある名所とその見学可能時間 23

チャイタニヤ・ジョーティ博物館 24
サナータナ サムスクリティ博物館 25
シュリ・サティヤ・サイ・スペース・シアター（プラネタリウム） 26
スーパー・スペシャリティ・ホスピタル（特別専門病院） 27
シュリ・サティヤ・サイ・ヒル・ビュー・スタジアム 28
サティヤ・サイ・ババの生誕地（シヴァラヤム） 29
ババのご両親の霊廟（サマーディ） 30
ダッタートレーヤ寺院 31
ヴェーヌゴーパーラスワミー寺院 32
サッティヤンマ寺院 33
ハヌマーン寺院 34
ヴァータ・ヴリクシャ（瞑想の木） 35

プラシャーンティ・ニラヤムの地図 38

至高の平安の住居

プラシャーンティ・ニラヤムとは「至高の平安の住居」を意味します。それは、シュリ・サティヤ・サイ・ババの主要なアシュラムであり、左にチットラーヴァティー川を臨むなだらかな丘陵地帯、プッタパルティ村の近くに位置しています。ここには、シュリ・サティヤ・サイ・ババの聖廟、サイ・クルワント・ホール、バジャン・マンディール、宿泊施設、シュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラストの本部とその関連機関があります。

生前のシュリ・サティヤ・サイ・ババは一年の大半をプラシャーンティ・ニラヤムで過ごしました。それゆえ、この神聖な町は、さまざまな文化、信仰、人種、言語、社会経済階層を持つ何千人もの霊的な願望者が、ババの神聖な存在を見、ババの純粋な愛を体験するために、世界中から訪れる場所となっています。

アシュラム訪問者に対するババの指針

1963年1月25日、シュリ・サティヤ・サイ・ババはプラシャーンティ・ニラヤムの住人に向けて御講話を行いました。その中でババはプラシャーンティ・ニラヤムでの滞在を最大限に活用する方法を強調しました。以下は、そのテルグ語講話からの引用です。

「このプラシャーンティ・ニラヤムでは、一定の制限が設けられており、私が推奨する有益な時間の過ごし方があります。長くここに住んでいる者であれ、新しくここに来た者であれ、ここに来る人は皆、それを守らなければなりません。

あなた方は私を見、ここに滞在し、これらの講話を聞きました。何が得られるのか、私に尋ねてごらんください。あなたは変わることなく、影響を受けることなく、帰るのですか？あなた方は自らを引き上げて、霊的生活という澄んだ空気の中に入り、スラムや脇道から離れ、神へと向かう高速道路を旅しなければなりません。常に神の栄光を思いなさい。そうすれば、その栄光の中であなたは輝くでしょう。真理を固く守りなさい。それがあなたのハートから恐れを取り除く最も確実な手段です。愛（プレーマ）は、真理によって水やりされたハートの中でしか育ちません。

あなたが惰性でブラダクシナ（神像などの周りを何回も時計回りに歩く修行）をしている間、他人の欠点や野菜の値段、昼食に作ろうと思っている料理についてあなたの舌がしゃべっていることを私は知っています。ブラダクシナを始める前に、ダクシナー（感謝の捧げ物）として、あなたの心（マインド）を、その寺院に住まう神に捧げなさい。それが最初にすべきことであり、おそらくは唯一のすべきことです。ブラダクシナは、手足をほぐ

したり運動したりするために行うものではありません。

このブラシャーンティ・ニラヤムをぞんざいに扱ってはなりません。ここでの滞在を最大限に活用しなさい。このチャンスを軽んじてはなりません。あなた方は多くのお金を使い、多くの苦勞をしてここまでたどり着きました。しかし、靈性の道を学ぶことによって開花し、香り高い主の御足への捧げ物となってはいけません。感覺を制御して、魂の従順な召使にしなければなりません。たとえば、私は静寂を求めます。口数を少なくし、話さなければならないときには小さい声で話しなさい。

あなたの悲しみ、あなたが必要としている物、あなたの問題、そのような物事を束にして、ここに来た人々の耳の中に押し入れてなりません。彼らは悩みを増やすことに興味はないのです。私がここにいるのは、あなたの話を聞き、慰めるためです。大きな声を出して、瞑想したり、神の御名を読んだり書いたりしている人々の邪魔をしないでください。すべての病は、間違った生き方に起因しているのです。

可能であれば、一人で瞑想しなさい。できれば、靈的な本を読み、静かな場所で主の御名を書きなさい。これらのできないのであれば、少なくとも、これらを行っている他の人々の邪魔をしないようにしなさい。互いに励まし合い、神への道を進みなさい。

帰依者という名誉ある称号を得る資格を得なさい。私の帰依者と名乗る人々を通して、私の栄光は日々広がっています。あなたの美德、あなたの自制、あなたの無執着、あなたの信仰、あなたの堅忍不拔——これらのしるしによって、人々は私の栄光を理解するのです。私がそのような敬意を望んでいるわけではありません。ただ、この世界では、人々が直接的ではなく間接的に他人を推し量ることがあるのです。言っておきますが、それほどの帰依者は非常に稀です。私があなた方に「親愛なる帰依者の皆さん！」と呼びかけないのは、そのためです。あなた方がその称号を主張できるのは、あなた自身が完全に私の手の中にあり、あなたの虚栄心を満たすエゴがまったくなくなったとき、初めてあなたはその称号を自称することができます。」

ブラシャーンティ・ニラヤムの毎日のスケジュール

ババは、アシュラムで守るべき毎日のスケジュールを定めました。アシュラムで毎日行われるすべての活動には、深い靈的意味が込められています。

時間	場所	活動内容
AM4:00	アシュラムの門	開門
AM5:10～AM5:40	バジャン・ホール	オーム・カーラ、瞑想、スップラバータム
AM5:40～AM6:15	バジャン・ホール	ヴェーダ詠唱
AM 5:40～AM6:15	アシュラム敷地内	ナガラサンキールタン
AM6:30～AM7:30	バジャン・ホール	プージャー（一般帰依者の入場は AM6:25 から）
AM8:00～AM9:00	サイ・クルワント・ホール	朝のヴェーダ詠唱
AM9:00～AM9:30	サイ・クルワント・ホール	朝のバジャン、アーラティ
AM9:30～AM10:30	サイ・クルワント・ホール	朝のダルシャン（ババの靈廟への礼拝）

AM10:30～AM11:30	サットサング・ビル（ショッピング・センターの向かい）	著名な帰依者による講演
PM4:30～PM5:00	サイ・クルワント・ホール	日曜日のみ、ダルジャン（ババの霊廟への礼拝）
PM4:30～PM5:15	サイ・クルワント・ホール	午後のヴェーダ詠唱
PM5:15～PM6:00	サイ・クルワント・ホール	午後のバジャン、アーラティ
PM6:00～2度目のアーラティ終了まで	サイ・クルワント・ホール	午後のダルジャン（ババの霊廟への礼拝）
PM6:00～PM6:20	プレイヤー・ホール	瞑想
PM9:30	アシュラムの門	閉門（閉門後は入れません）

時間やプログラムの変更のお知らせは、前日までにサイ・クルワント・ホール前の掲示板に貼り出されます。

活動内容の説明

オーム・カーラ：

オーム・カーラとは、「プラナヴァ」とも呼ばれる原初の音「オーム」を唱えることです。「オーム」を唱えることによって生じる波動には、個人の内面や周囲の環境を浄化する力があります。そのため、ブラシャーンティ・ニラヤムの一日は、オームを21回唱えることによって始まるのです。

スップラバータム：

「ス」は善良、吉祥を意味し、「プラバータ」は朝を意味します。「スップラバータム」とは、各個人の中に存在する神性を目覚めさせるために、主を讃えて唱える朝の祈りのことです。新しい一日が始まるにあたって、主に全託し、主からの祝福を祈ります。

ヴェーダ詠唱：

ヴェーダは、神と交流する中で偉大な賢者や先見者たちに啓示された古代の霊性経典です。これらの賛歌を唱えたり聞いたりすることによって、精神と肉体の両面に恩恵があります。そのため、ババはヴェーダを非常に重視し、讃歌を唱え、その意味を理解することを皆に推奨しています。ババの学生たちは、早朝、マンディールを一周する間と、マンディールでの午前と午後のダルジャン時間の間に、これらの賛歌を唱えます。

ナガラサンキールタン：

「ナガラ」は都市や地域を意味し、「サンキールタン」は信愛を歌うことを意味します。スップラバータムの後、帰依者たちは手拍子を叩いて信愛の歌を歌いながら、マンディールの周囲を歩きます。それによって、大気は聖なる波動で満たされ、帰依者は主の御名を口ずさみながら一日を始めるのです。

バジャン：

バジャンとは「神の栄光を声に出して歌う」ことを意味します。シュリ・サティヤ・サイ・ババの前で歌われる

バジヤンは、普遍的かつ魅力的で、信仰は一つであることを強調するユニークなものです。

アーラティ

「アーラティ」とは、礼拝の最後に行われる儀式で、樟脳に灯した炎を神の前で回します。アーラティが行われている間、帰依者たちは主を賛美する信愛の歌を歌い、最後に普遍的平和を願って祈りを捧げます。

アシュラム内での規律とエチケット

1. 礼儀：アシュラム内では、おしゃべりをしたり、噂話に興じたりするために、男女が互いの部屋を訪れることはありません。通常、アシュラム敷地内では、インドの習慣や社会的振る舞いが遵守されています。人前で愛情を示すことは不適切です。男女が互いの肩に手を回したり、手をつないで歩いたりすることは推奨されません。
2. 静寂：静寂を守り、話す必要があるときは静かに話してください。大音量で音楽を流さないでください。公共の場所（特にガネーシャ像の前やアシュラム内の寺院の前）で、他の人に声をかけたり、おしゃべりをしたり、大声で笑ったりして、他の人に迷惑をかけないようにしてください。アシュラム内を歩きながら、離れた場所にいる人に大声で呼びかけたり、携帯電話で大声で話したりしないでください。アシュラム内の消灯時間は午後9時30分で、それ以降にアシュラム内外を歩き回することはできません。アシュラムの門も午後9時30分に閉まります。
3. 携帯電話のマナー：サイ・クルワント・ホール内での携帯電話の使用は禁止されています。アシュラム内で携帯電話を使用する場合は、大音量で音楽を流したり、映像を視聴したりせず、ヘッドホンかイヤホンを使ってください。着信音はサイレント・モードが最も小さな音量に設定してください。携帯電話で大声で話したり、他の帰依者に迷惑をかけたり、アシュラムの神聖な雰囲気を損なうようなことはしないでください。
4. 禁止事項：タバコ、タバコ製品（電子タバコなど）、ドラッグ、アルコール飲料、卵を含む非菜食性食品の摂取または所持は固く禁じられています。アシュラム敷地内でのギャンブル（賭博行為）も固く禁じられています。
5. 犬や他の動物への餌やり：アシュラム敷地内で犬や他の動物に餌を与えることは固く禁じられています。
6. 子供：アシュラム内での子供のしつけに責任を持ってください。いかなる事情があっても、サイ・クルワント・ホールの静寂を乱したり、他の帰依者に迷惑をかけたりしないでください。アシュラム内での子供のマナーに責任を持ってください。
7. 服装規定：礼拝の場にふさわしい、控えめで、清潔で、落ち着いた服装を心がけてください。ショートパンツ、ハーフパンツ、ノースリーブ、足首よりも短いスカートやパンツ、体のラインがあらわになるぴったりの服、透ける服は禁じられています。
8. 清潔さ：このアシュラムは神が歩いた場所です。ですからきれいに保ってください。公共のトイレを使った後は、誰もが気持ちよく使用できるよう、きれいに保ち、ごみなどを散らかさないでください。屋台エリアでは食べた後のゴミを散らかさないで、設置してあるゴミ箱に捨ててください。それがアシュラムへの貢献となります。
9. カメラ：携帯電話やカメラの使用はアシュラムの規則に従ってください（サイ・クルワント・ホール内ではカメラや携帯電話を使用できません）。

10. 宿泊施設（アコモデーション）：アシュラム内の宿泊施設を利用する際には、退去前に必ず、部屋の整理整頓と清掃を行ってから、アコモデーション・オフィスですべての費用を支払い、部屋の鍵を返却してください。
11. 駐車：アシュラム内に車や二輪車を駐車する際は、アシュラムのガイドラインに従ってください。アシュラム敷地内でクラクションを鳴らすことは禁止されています。

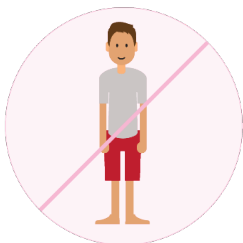
服装のガイドライン

アシュラム内での男性の服装：

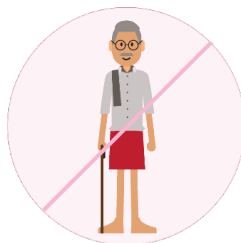
- × 足首が見える長さのパンツやルンギ（腰布）
- × ノースリーブのシャツ
- × 上半身裸でドーティ（腰布）
- × 体にぴったり密着している服
- 白の上下
- 袖のあるトップスと足首までの腰布
- ゆとりのあるトップスと足首までのパンツ
- ビジネススーツ
- 礼拝の場にふさわしい、控えめで、清潔で、落ち着いた服装

Aum Sri Sai Ram

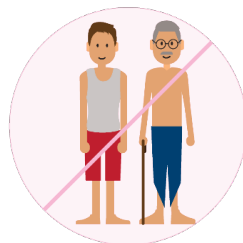
Prasanthi Nilayam Ashram Dress Code for Men



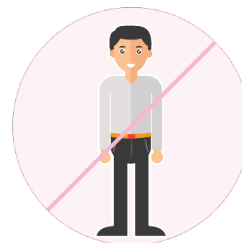
Shorts



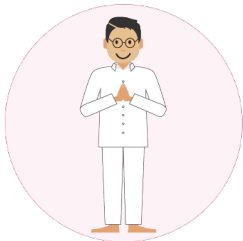
Half Lungis



Sleeveless Shirts
or Topless Dhotis



Tight-fitted Clothing



Modest, Clean & Sober Dressing encouraged - as befits a place of Worship

アシュラム内での女性の服装：

サイ・クルワント・ホールの中では、ショールまたはドゥパッタ（薄手の長いショール）で肩と肩を覆ってください。

×ノースリーブのサルワールやブラウスやトップス

×足首が見える長さのスカートやワンピースやパンツ

×体のラインがあらわになる服

×肌が透けて見える服

×周りの人の視野を妨害するような大きな帽子や盛り過ぎのヘアスタイル

○サルワール（ゆったりとしたパンツ）とカミーズ（膝丈くらいのトップス）とドゥパッタ（長い薄手のショール）が3点セットになったインド服。サルワールカミーズ、パンジャビドレス、パンジャビスーツなどと呼ばれています。

○袖のあるトップスと足首が隠れる長さのスカートと胸と肩を覆うショール

○サリー

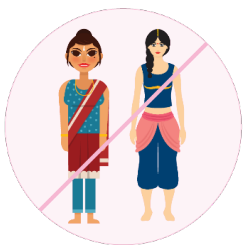
○足首まで隠れるワンピースと胸と肩を覆うショール

○礼拝の場にふさわしい、控えめで、清潔で、落ち着いた服装

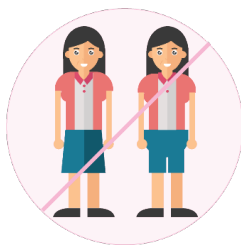
Aum Sri Sai Ram

Prasanthi Nilayam Ashram Dress Code for Women

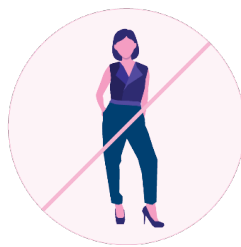
A stole, duppata or shawl over the shoulders and across the chest is courtesy inside Sai Kulwant Hall



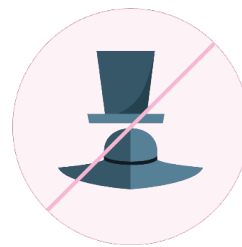
Sleeveless Salwars,
Blouses or Tops



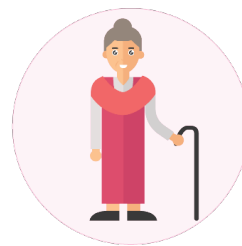
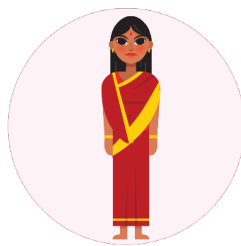
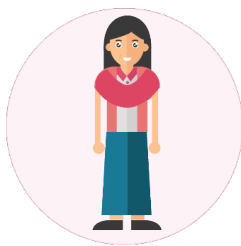
Above ankle length skirts
& dresses or shorts



Tight-fitted or transparent
Clothing



Large obtrusive Hats
or overmatted Hair



Modest, Clean & Sober Dressing encouraged - as befits a place of Worship

サイ・クルワント・ホール内への持ち込みが禁じられている物



携帯電話、カメラ、計算機、電化製品、目覚まし時計、懐中電灯、靴やサンダル、楽器、傘、双眼鏡、化粧品、化粧道具（櫛、鏡、ブラシなど）、スプレー、ハサミ、銃、刃物、ライター、タバコ、タバコ製品、ドラッグ、パーン（刺激物をパーンの葉で包んだ嗜好品）、ローソク、マッチ、線香、リュック、旅行カバン、ハンドバッグ、MP3 プレイヤー、ラジオ、タブレット端末、プージャール用品、ココナッツ、オイル、食料品、コーヒー、紅茶、果物、アイスクリーム、アルコール飲料、ソフトドリンク、紙パック入り飲料、マイボトル入り飲料、開口部があるクッションカバー、金属製の椅子、USB メモリ、カセットテープ、CD、フロッピーディスク、メモリーカード、霊性に関係のない書籍、勉強用以外の書籍、大きな本、電池で動く玩具など

訳注：サイ・クルワント・ホールに入る際には、部屋の鍵や少額の現金など最小限のものを入れた小さなポシェットと小さな座布団のみを持ち込む人が多いです。会場の入り口にセキュリティチェックがあるため、不適切な服装をしている場合や、禁じられている荷物を持ち込もうとした場合には、入場できません。会場内にスリが紛れ込んでいることがあるので、貴重品は持ち込まないようにご注意ください。

貴重品用ロッカー

海外からの帰依者がアシュラム滞在中の貴重品を保管できるように、N 8 棟 A-10 号室に貴重品用ロッカーがあります。利用可能時間は午前 8 時から午後 8 時までです。

注意事項

自称仲介者に注意

- 見知らぬ人や新しく知り合った人が、自分はバガヴァンと親しいと主張したり、バガヴァンから内的なメッセージ、あるいは特別なメッセージを受けていると主張する場合には、警戒してください。彼らはすべて偽者です。

- 偽医者や、ババから委任されたと称する「特別な力を持っているヒーラー」、あるいは「ホリスティック・セラピー」や「インド式セラピー」の代理人を訪問する際には、最大限の注意を払ってください。
- ババは、ご自身の御講話の中で「自分には代理人も仲介者も一切ありません」と繰り返しおっしゃっています。ババと帰依者とのつながりは、ハートからハートへ直接結ばれているのです。

無認可のトラスト（信託）／団体に注意

以下の機関または個人以外は、いかなる理由であれ、アシュラム内で寄付を受け取ることを許可されていません：

- シュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラスト Sri Sathya Sai Central Trust
- シュリ・サティヤ・サイ大学 Sri Sathya Sai Institute of Higher Learning
- シュリ・サティヤ・サイ・サーダナ・トラスト Sri Sathya Sai Sadhana Trust
- シュリ・サティヤ・サイ・イーシュワランマ女性福祉トラスト Sri Sathya Sai Eswaramma Women's Welfare Trust

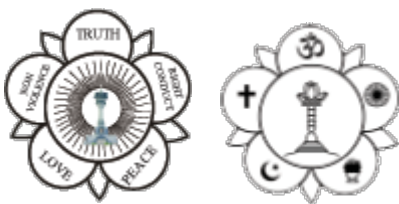
帰依者は、トラストが仲介者や代理人を通して寄付を求めることはしないことに留意してください。シュリ・サティヤ・サイ・ババまたは上記のトラストに代わって寄付を求める個人、トラスト、その他の団体は、違法な行為を行っています。そのような無許可の団体に寄付をする個人または団体は、自己責任で行うものであり、上記のトラストはその行為について一切責任を負いません。

帰依者はまた、アシュラム内でアシュラムのサービスのためにお金を集めようとする人物にも注意する必要があります。帰依者は、アシュラム内に宿泊する場合の宿泊費をアコモデーション・オフィスで支払うか、各自が飲食した分の食事代を食堂や屋台で支払うか、購入した物品の代金をショッピング・センターかブックストアで支払う以外、アシュラム内の誰に対しても金銭を支払う必要はありません。

公式ロゴと商標

インド政府は 1950 年に制定された「紋章および名称（不適切な使用の防止）法」の別表を改正し、同法の下で保護される名称および紋章として以下のものを追加しました：

1. Sri Sathya Sai Central Trust シュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラスト
2. 以下の紋章



3. Sri Sathya Sai シュリ・サティヤ・サイ

上記の改正により、何人も、中央政府から書面による事前の承諾を得ることなしに、当該保護された名称および標章あるいはそれらに類似したものを、いかなる通商、営業、職業、特許、商標、意匠の目的で使用し、あるいは使用を継続してはなりません。以上に違反した者は、法律に規定に基づいて、訴追されかつ罰せられることとなります。

上記法律の規定に違反して、二〇〇四年七月二十二日以降に当該名称および標章を使用している者に対しては、当該名称および標章の使用を直ちに停止するよう、ここに通告します。

アシュラム内の施設

パブリック・リレーションズ・オフィス

パブリック・リレーションズ・オフィス (Public Relations Office) は、サウス・インディアン・キャンティーンの向かい側にある建物の10号室にあります。このオフィスは全日午前8時から午後2時、午後3時から午後7時まで開いています。落とし物預かり所もあり、落とし物について問い合わせたり、アシュラム内で発見された引き取り手のない品物を預けたりすることができます。不明な点はアシュラムのパブリック・リレーションズ・オフィスにお問い合わせください。学校や大学の生徒たち、120人以上の団体向け貸し切りプラネタリウムショーは、事前にパブリック・リレーションズ・オフィスに連絡して手配することができます。



エマージェンシー&セキュリティ・オフィス

エマージェンシー・セキュリティ・オフィス (Emergency Security Office) は、ゴープラム門の横、サウス・インディアン・キャンティーンの隣にあり、年中無休です。アシュラムと帰依者の安全に関する問題はすべてここで処理されます。緊急時には、ここで救急車を手配することもできます。アシュラムを去る際には、プラサードとして小袋入りのヴィブーティをここで受け取ることができます。



車椅子の貸し出し

車椅子を必要とする帰依者は、午前8時から午後8時までの間、N8棟A10号室で車椅子を借りることができます。また、空き状況によりますが、アコモデーション・オフィスで希望を伝えれば、1階の部屋を割り当ててもらえることが可能です。車椅子をアシュラムの敷地外に持ち出すことはできず、指定された日に返却しなければなりません。



クローク

サイ・クルワント・ホールには、大きなカバンや電化製品など、持ち込めないものがあります。

男性用クロークは、S1 棟の向かい側にあります。

女性用クロークは、サイ・クルワント・ホールの北側、女性専用入り口の隣にあります。

利用時間

午前 4 時 30 分～午前 10 時 30 分

午後 4 時～7 時 30 分



携帯電話専用クローク

男性用携帯電話専用クロークは、サイ・クルワント・ホールの男性用入口近くにある E 棟の中にあります。

女性用携帯電話専用クロークは、サイ・クルワント・ホールの北側にある女性用入り口の隣にあります。

利用時間

午前 7 時 30 分～10 時 30 分



貴重品専用ロッカー

海外からの帰依者は、アシュラム滞在中の貴重品保管のために、N8 棟 A10 号室にある貴重品専用ロッカーを利用することができます。

利用時間

午前 8 時～午後 8 時



銀行

サウス・インディアン・キャンティーンの向かい側に、インド・ステイト銀行のプラシャーンティ・ニラヤム支店があります。

利用時間

月曜日から金曜日まで：

午前 9 時～正午、午後 3 時～午後 6 時

土曜日と日曜日：午前 9 時～正午



ATM

ノース・インディアン・キャンティーンの近くにカナラ銀行 (Canara Bank) の ATM 施設があります。ATM 施設内には硬貨の自動販売機も設置されています。

プッタパルティ支店がある主要銀行（アシュラムの外）：カナラ銀行 (Canara Bank)、シンジケート銀行 (Syndicate Bank)、アクシス銀行 (Axis bank)、コタック・マヒンドラ銀行 (Kotak Mahindra bank)、アンドラ銀行 (Andhra Bank)、HDFC 銀行、ICICI 銀行。これらの銀行では ATM、クレジットカード、デビットカードが利用できます。

注意：外国為替取引はインドの法律で禁止されています。無許可で外国為替取引を行わないでください。



ショッピング・センター

ショッピング・センターは S6 棟の隣、ブックストア (シュリ・サティヤ・サイ・サーダナ・トラストの出版部門) の近くにありま。文房具、食料品、家庭用品から衣料品、旅行用品に至るまで、帰依者の日々の生活に必要な物が非常にリーズナブルな価格で入手できます。

利用時間

午前（女性のみ入店可能） 午前 9 時 30 分～正午
午後（男性のみ入店可能） 午後 3 時～午後 5 時



ブックストア

シュリ・サティヤ・サイ・サーダナ・トラスト（出版部門）のブックストアは、ショッピング・センター近くにある S6 棟の裏手に位置し、ババの生涯と御教え、バジャン、プラシャーンティ・ニラヤムの祝祭などに関するさまざまな書籍、CD&DVD、写真などの印刷、出版、販売を行っています。英語だけでなく他の言語の出版物の販売も請け負っています。アシュラム敷地内に数か所、一部の書籍や CD&DVD を販売するテントもあります。英語版とテルグ語版のアシュラムマガジン「Sanathana Sarathi」の購読はこちらで、またはオンライン (www.sanathanasarathi.org) でお申し込みいただけます。



利用時間

午前 9 時 30 分～正午

午後 3 時～午後 5 時

図書館と読書室（リーディング・ルーム）

ブックストアの裏手には、サイ文献の宝庫である読書室もあります。バガヴァン・ババの生涯や御教え、帰依者の体験談など、インド語や外国語で書かれた多種多様な蔵書を閲覧できます。

詳しくは www.sssbpt.org をご覧ください。

利用時間

午前 9 時 30 分～正午 12 時

午後 3 時～午後 5 時

テレフォン・ブース（公衆電話）

国内・国際電話は、R5 棟の向かいにあるセヴァダル宿泊棟 1 階にある公衆電話からかけることができます。

利用時間

午前 6 時～午後 8 時 45 分



メンテナンス・オフィス

アシュラム内の部屋やホールに関する諸問題（電気、水道、設備など）やその他の苦情は、アシュラムの管理事務所（メンテナンス・オフィス）に連絡してください。アシュラムの南端の W3 棟の隣にあります。

利用時間

午前 8 時～午後 8 時



ジェネラル・ホスピタル（総合病院）

シュリ・サティヤ・サイ・ジェネラル・ホスピタル（総合病院）は、アシュラムの隣、南側にあります。この病院には外来設備があり、救急医療サービスも提供しています。一般内科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科、産科、婦人科の診察と治療を無料で行っています。

診療時間

救急外来 24 時間

外来 午前 8 時～午後 1 時、午後 2 時～午後 4 時



スーパー・スペシャリティ・ホスピタル（高度専門病院）

スーパー・スペシャリティ・ホスピタル（高度専門病院）は、Sri Sathya Sai Institute of Higher Medical Sciences（シュリ・サティヤ・サイ高等医療機関）とも呼ばれており、アシュラムから約 7 km 離れたブラシャーンティ・グラムにあります。この病院では、循環器科、泌尿器科、眼科、整形外科、消化器科の専門治療を完全無料で行っています。詳しくは <https://psg.sssihms.org.in/> をご覧ください。

診療時間

月～土 午前 8 時 30 分～午後 5 時

日曜日と祝祭日は休診



公認ドービー（洗濯サービス）

毎朝7時過ぎに、各居住棟の前に公認ドービー（洗濯屋）が来ます。彼らはアシュラム内で営業する許可証を有しています。個人の洗濯物は有料でドービーに頼むことができます。ドービーに預けた洗濯物は、翌朝、または2日後の朝まで洗濯され、アイロンをかけられた状態で返却されます。

公認ポーター

到着時または出発時に部屋から車まで荷物を運ぶ際には、有料で公認ポーターに運んでもらうことができます。料金は固定料金で、料金表(tariff)があります。



食事

アシュラム敷地内には、3つの食堂（キャンティーン）があり、世界中からプラシャーンティ・ニラヤムを訪れる何千人もの人々のさまざまな嗜好に対応しています。これらの食堂では、衛生的に調理されたベジタリアン料理が低価格で提供しています。また、スナック・カウンター（軽食）、ベーカリー（パン屋）、ココナッツ屋台、帰依者のための無料の食事（フードプラサードム）もあります。

サウス・インディアン・キャンティーン

サウス・インディアン・キャンティーンでは、南インドの純粋なベジタリアン・ミールス（菜食定食）、朝食、軽食、紅茶、コーヒー、ミルクなどを格安で提供しています。

- 入口と館内は、男性用と女性用に分かれています。
- 海外から来た方にとっては、料理が辛すぎるかもしれません。そのような方には、ウェスタン・キャンティーンの利用をお勧めします。

利用時間

- 朝食 午前6時30分～午前8時30分
- 昼食 午前11時～午後1時
- ティータイム&軽食 午後3時30分～午後4時15分
- 夕食 午後6時30分～午後8時30分

支払い方法

サウス・インディアン・キャンティーンでの支払いは、キャンティーン・クーポン（食券）のみとなります。現金は使えません。キャンティーン・クーポンは、サウス・インディアン・キャンティーン男性用入口の前にある「キャンティーン・クーポン・カウンター」（Canteen Coupons）で購入することができます。



ノース・インディアン・キャンティーン

アシュラムの N 棟エリアにあるノース・インディアン・キャンティーンでは、純ベジタリアンの北インド料理を提供しています。

- 入口と館内は、男性用と女性用に分かれています。
- 海外から来た方にとっては、料理が辛すぎるかもしれません。そのような方には、ウェスタン・キャンティーンの利用をお勧めします。

利用時間

- 昼食 午前 11 時 30 分～午後 1 時
 - 夕食 午後 6 時 30 分～午後 8 時
- 朝食と午後の軽食/お茶の提供はありません。

支払い方法

現金のみ

ウェスタン・キャンティーン

ウェスタン・キャンティーンは、アシュラム敷地内の R2 棟と R3 棟の間にあり、純ベジタリアンの欧米料理を提供しています。

- 入口と館内は、男性用と女性用に分かれています。

利用時間

- 朝食 午前 8 時～午前 9 時、午前 9 時 30 分～午前 10 時 30 分
 - 昼食 午後 0 時 45 分～午後 1 時 30 分
 - 夕食 午後 7 時～午後 8 時 30 分
- 午後の軽食/お茶の提供はありません。

支払い方法

現金またはカード



スナック・カウンター（軽食）

ショッピング・センターの隣と、ノース・インディアン・キャンティーンの近くに売店（キオスク）があり、軽食（スナック）や飲み物、アイスクリームなどを提供しています。またアシュラムのあちこちに、コーヒー、紅茶、ホットチョコレートなどの飲み物を販売するスタンドがあります。

利用時間

これらの売店は午前5時～午後8時30分の間営業していますが、店によって、時期によって営業時間が異なりますので、直接確認してください。午前と午後のプログラムやバジャン・セッションの間は閉まっています。



ベーカリー（パン屋）

ベーカリーはS6棟の裏手、ショッピング・センターの北側にあります。アシュラムの敷地内で、セヴァダル（ボランティア）によって作られたパンやパン、ピザなどさまざまな種類のパンを買うことができます。

利用時間

午前：午前9時30分～午前11時

午後 午後3時30分～午後5時15分

サウス・インディアン・キャンティーンにもベーカリー販売カウンターがあります。

利用時間

午前7時30分～8時30分

アコモデーション（宿泊施設）



R棟（Round Block）

宿泊予約

家族での宿泊（家族が同じ部屋に宿泊）を希望する場合は、到着予定日前に <http://www.prasanthinilayam.in/> から予約してください。

大人数での宿泊を希望する場合は、到着予定日のかなり前にアコモデーション・オフィスまでメールでご連絡ください（Eメール：enquiry@prasanthinilayam.in）。

支払い

宿泊料金の支払いは現金（インドルピー）またはカードのみとなります。

非インド人帰依者および海外に居住するインド人帰依者の場合

個人用ドミトリー（相部屋）に宿泊する場合

受付は N9 棟の隣にあります。

受付時間 午前 6 時 15 分～午後 8 時

料金（1 日分、1 人分）

- 50 ルピー（シングル女性用簡易ベッド付き）

- 30 ルピー（シングル男性用簡易ベッド付き）

ファミリールームに宿泊する場合（家族のみ利用可）

受付は N9 棟の隣にあります。

受付時間 午前 6 時 15 分～午後 8 時

料金（1 日分）

- 300 ルピー（ベビーベッド 2 台付き）

- 700 ルピー 最近改装された N 棟の部屋（エアコンなし）

- 950 ルピー 最近改装された N 棟の部屋（エアコンあり）

※給湯器付きの部屋には 50 ルピーの追加料金がかかります。

注意事項

- 海外からの帰依者は、登録手続きを完了するため登録用紙（Form C）に記入する必要があります。登録用紙は受付で入手可能ですが、事前にダウンロードすることもできます。25 名以上のグループの場合は、時間を節約するため、あらかじめ全員が登録用紙への記入を済ませておくことをお勧めします。[Form C（非インド国籍者用）のダウンロードはこちら。](#)

- 1 人の場合は、ドミトリーでの宿泊のみとなります。

- 複数回入国可能な観光ビザを有している非インド国籍者が連続してインドに入国する場合、最低でも 2 ヶ月以上の間隔を空けることが法律で義務付けられています。インド訪問前に遵守すべき規則については、インド国入国管理局のホームページ（英文）[Bureau of Immigration - BOI](#) または旅行会社でご確認ください。

インドにおける観光

外国人（パキスタン国籍以外）がレクリエーション、観光、友人や親戚に会うための気軽な訪問、短期ヨーガ・プログラムへの参加、短期間の治療などを唯一の目的としている場合、観光ビザ（Tourist Visa）でインドに入国する必要があります。

観光ビザを取得する資格がある国の外国人旅行者で、公認旅行代理店の支援の下、4名以上のグループでインドを旅行する場合は、団体観光ビザ（Group Tourist Visa）を取得する必要があります。

重要なガイドライン

1. 外国人が e-tourist もしくは Tourist Visa、あるいはその両方を利用してインドに滞在する場合、暦年で180日を超えてはなりません。
2. e-Tourist/Tourist Visa でインドに到着した後は、継続滞在規定の制限が適用されます。
3. e-Tourist/Tourist Visa の延長および変更はできません。
4. 外国籍の方（パキスタン国籍以外の方）がインドに入国する場合、観光ビザで許可された活動（レクリエーション、観光、友人や親戚に会うための気軽な訪問、短期ヨーガ・プログラムへの参加、短期間の治療）を利用することができます。
5. 短期ヨーガ・プログラムとは、6ヶ月を超えず、資格証明書やディプロマなどが発行されないヨーガ・プログラムを指します。
6. アフガニスタン、中国、イラク、スーダン、パキスタン国籍の外国人、無国籍者が観光ビザでインドを2回訪問する際には、少なくとも2ヶ月の間を置く必要があります。

到着ビザ (VoA)

日本、大韓民国、アラブ首長国連邦（UAE）の国民で、ビジネス、観光、会議、医療目的で60日を超えない期間インドを訪問する場合、到着ビザ（Visa-on-Arrival、略称 VoA）を取得することができます。

アラブ首長国連邦（UAE）国民の場合、以前にインドの e-Visa または通常のステッカー/紙ビザを取得した者のみが VoA を利用できます。

日本、大韓民国、アラブ首長国連邦（UAE）の国民で、本人またはその両親もしくは祖父母（父方/母方）がパキスタンで生まれたか、パキスタンの永住者である場合、VoA を利用することはできません。

VoA は、ベンガルール、チェンナイ、デリー、ハイデラバード、コルカタ、ムンバイの国際空港で取得することができます。

覚えておくべきポイント

VoA はダブル・エントリーで最長60日間有効。

VoA は延長不可、換金不可。

外交/公用パスポートの所持者は VoA を利用できません。

国別ガイドライン(日本)

質問：インドに入国するために、ビザは必要ですか？

回答：インドに入国するためにはビザが必要です。

質問：インドに入国するために、オンラインビザ（e-Visa）を利用することはできますか？

回答：はい、e-Visa の資格があります。詳細は www.indianvisaonline.gov.in でご確認ください。

質問：インドに入国する際に、到着ビザ（VoA）を利用できますか？

回答：はい、到着ビザを取得することができます。詳細については、到着ビザの項をご覧ください。

質問：「医療ビザ」（Medical Visa）の場合、何人まで同伴できますか？

回答：「MED-2 ビザ」（医療付き添いビザ）を取得する際、一度に許可される同伴者（付き添い人または家族）は2名までです。詳細は [FAQ](#) でご確認ください。

質問：インド入国に健康診断書や予防接種証明書は必要ですか？

回答：保健規則については [こちら](#) こちらをご覧ください。（訳注：黄熱病流行地域からインドに入国する場合は黄熱病ワクチン接種済み証明書が必要）

質問：観光ビザでインドに滞在できる期間はどのくらいですか？

回答：インドでの滞在可能期間は、ビザに記載されている滞在条件、または暦年で180日間の滞在のいずれか早い方となります。

質問：どこからインドに入国できますか？ インドへの入国ポイントはどこですか？

回答：通常のビザ（紙のビザ）を持っている場合は、入国管理局（Immigration Check Posts）からインドに入国することができます。 [入国管理局一覧](#) はこちら。

VoA（到着ビザ）は、デリー、ムンバイ、チェンナイ、コルカタ、ベンガルール、ハイデラバードの指定国際空港でのみ発給されます。

e-Tourist Visa での入国は、以下の国際空港/港でのみ可能です。

空港： (1)デリー (2)ムンバイ (3)チェンナイ (4)コルカタ (5)ティルヴァナンタプラム (6)ベンガルール (7)ハイデラバード (8)コーチン (9)ゴア(ダボリム) (10)ゴア(モパ) (11)アーメダバード (12)アムリトサル (13)ガヤ (14)ジャイプール (15)ラクナウ (16)トリチー (17)バラナシ (18)カリカット (19)マンガロール (20)プネー (21)ナーグプル (22)コインバトール (23)バグドグラ (24)グワハティ (25)チャンディーガル (26)ヴィシャーカパトナム (27)マドゥライ (28)ブバネーシュワル (29)ポートブレア、(30)カヌール。

海港： (1)ムンバイ (2)コーチン (3)ゴア(モームガオ) (4)チェンナイ (5)ニュー・マンガロール(クルーズ観光客向け)

以上

ブラシャーンティ・ニラヤムへの行き方

バガヴァン・シュリ・サティヤ・サイ・ババの神聖な愛は、遠く離れた人々をも、プッタパルティという小さな村にあるブラシャーンティ・ニラヤム（至高の平安の住処）に引き寄せます。かつては小さな集落であったブラシャーンティ・ニラヤムは、今や国際的に知られるスピリチュアル・センターとなりました。ブラシャーンティ・ニラヤム・アシュラムは、南インドのバンガロールから北東へ約 150km（約 90 マイル）、アナンタプールから約 85km、ペヌーコンダから約 30km、ダルマヴァラムから約 40km、ハイデラバードから約 450km 離れた、アーンドラ・プラデーシュ州シュリ・サティヤ・サイ地区のプッタパルティにあります。

プッタパルティには、空港、鉄道駅、長距離バス乗り場があり、インド南部のすべての主要都市とつながっています。アーンドラ・プラデーシュ州の他の都市からプッタパルティに行くのは簡単です。

陸路で行く場合

バンガロールからブラシャーンティ・ニラヤムまではタクシーで約 2 時間半から 3 時間かかります。料金は時間によって異なります。ブラシャーンティ・ニラヤムからバンガロールまでのタクシーの手配は、アシュラムの外に事務所を構えるタクシー会社や旅行代理店にお問い合わせください。アーンドラ・プラデーシュ州道路交通公社とカルナータカ州道路交通公社は、プッタパルティから多くの都市／町へ向かうバスを運行しています。

電車で行く場合

鉄道でのブラシャーンティ・ニラヤムへのアクセスは簡単で、ハイデラバード、ヴィシャーカパトナム、ブバネーシュワル、チェンナイ、ムンバイ、ニューデリーなど、インドの主要都市とつながっている「シュリ・サティヤ・サイ・ブラシャーンティ・ニラヤム駅」があります。この駅はアシュラムから約 8km 離れており、APSRTC（アーンドラ・プラデーシュ州立道路輸送会社）の定期運航バスで行くことができます。ブラシャーンティ・ニラヤムを経由する列車が毎日多数運行しています。（駅名：Sri Sathya Sai Prasanthi Nilayam、IRCTC のウェブサイト上の駅コード：SSPN）。ブラシャーンティ・ニラヤムから約 40 キロ離れたダルマヴァラム駅（IRCTC ウェブサイト上の駅コード：DMM）を経由する列車も多数あります。ダルマヴァラムまで列車で行き、そこからブラシャーンティ・ニラヤムまで陸路で移動することもできます。

飛行機で行く場合

ブラシャーンティ・ニラヤムに最も近い空港はベンガルール国際空港です。ベンガルール空港からは、インド国内および他国の多くの都市へのフライトが発着しています。ブラシャーンティ・ニラヤムに行くには、ムンバイ、デリー、チェンナイ、ハイデラバードなどから国内線でベンガルール空港まで飛び、その後、空港からタクシーかバスを利用することができます。ベンガルール空港はバンガロール市の北約 30km、バンガロール市とプッタパルティの間に位置しています。ベンガルール空港からブラシャーンティ・ニラヤムまではタクシーで 2 時間半から 3 時間かかり、料金は時間によって異なります。旅行代理店に前もってタクシーを予約してもらうこともできますし、空港でタクシーを拾うこともできます。

アシュラム周辺にある名所とその見学可能時間

チャイタニヤ・ジョーティ博物館	AM10:00～正午、PM3:00～PM5:00（月曜休み）
サナータナ・サムスクリティ博物館	AM10:00～正午（水曜休み）
シュリ・サティヤ・サイ・スペース・シアター（プラネタリウム）。	毎日上映。開場はAM10:00、上映開始はAM10:30。
シュリ・サティヤ・サイ・スーパー・スペシャルティ・ホスピタルの案内ツアー	正午～PM2:00（日曜日のみ）
ヒル・ビュー・スタジアム	普段は入れない
サティヤ・サイ・ババの生誕地、シヴァラヤム	AM10:00～正午
ババの両親の霊廟（サマーディ）	AM9:30～AM11:30 PM4:30～PM6:30
ダッタトレーヤ寺院	AM9:30～AM11:30 PM4:30～PM6:30
ヴェーヌゴーパーラスワミー寺院	
サティヤンマ寺院	
ハヌマーン寺院	
ヴァータ・ヴリクシャ（瞑想の木）	
カルパタル（カルパ・ヴリクシャ、願望成就の木）	
シュリ・サティヤ・サイ国際スポーツ・センター	AM10:00～AM11:30
ガネーシャ寺院（ガネーシャ門の前）	
シルディ・サイ寺院	
サイ・ギター・サマーディ：ババのペットだった象、サイ・ギターのお墓	
シュリ・サティヤ・サイ・ゴープラム（酪農場）	
ババに関する映画の上映（サットサング・ビルにて）	PM8:00～PM9:00

見学時間は2023年現在のものですが、変更になる場合があります。

チャイタニヤ・ジョーティ博物館



チャイタニヤ ジョーティ博物館は、2000年11月18日に、ババの降誕75周年を記念して落成されました。この素晴らしい建物には、ババの生涯と御教えに関する展示品が所蔵されています。この博物館は、マルチメディアのプレゼンテーションと、7つのテーマに分けられた展示によって、訪れる人をババの誕生から幼少期、降臨に関する予言、アヴァターの大いなる使命における主要な出来事へといざないます。

ユニークな建築様式

丘の斜面に建てられたこの建物には、古代から現代までのさまざまな建築様式が融合しています。

典型的な東洋様式で作られた屋根は、中国本土以外では最大の中国様式屋根です。

向かって左右には、チタンで作られたムーア様式のドームがあります。

屋根の下は、ゴシック様式の半円形にデザインされています。

2台のエレベーターの柱身には、日本様式の屋根がついています。

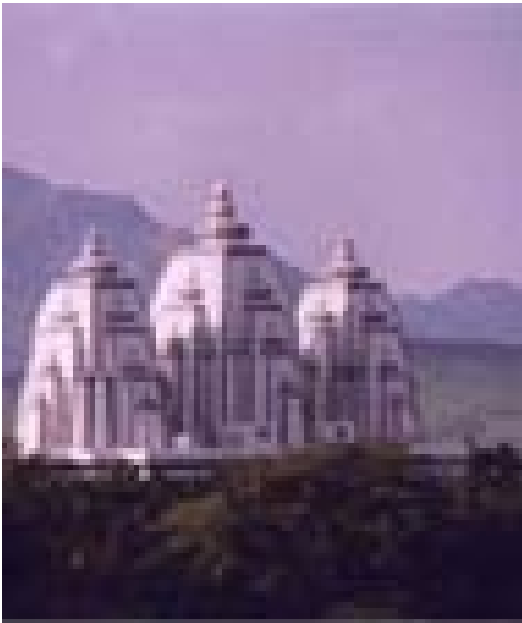
この他に、平面上には多くのスタパティ（インドの伝統的彫刻）が施されており、建物の美しさをさらに引き立てています。中国様式屋根の下には光ファイバーの照明が備えられ、装飾された天井に反射して、美しさを際立たせています。建物内の床には、陶製のタイル、磨き上げられた御影石の赤とグレーのタイル、ジャイサルメール産の大理石のタイル、白い釉薬仕上げのタイルが敷き詰められています。

開館時間

AM10:00～正午、PM3:00～PM5:00（月曜休み）

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

サナータナ サムスクリティ博物館



サナータナ サムスクリティ博物館、別名エターナル ヘリテイジ博物館（永遠の遺産の意）は、ババの主要な御教えの一つである「宗教は一つ」というメッセージを伝えています。展示物は、世界の主要な宗教の主な御教えと、人類の霊的向上に寄与した偉大な聖者や霊的指導者の生涯と御教えに焦点をあてています。この博物館は、ジャイナ教寺院などに見られるシカラ様式で作られています。この建物は1990年11月19日にババによって落成式が執り行われました。

開館時間

午前 10 時～正午

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます。\)](#)

シュリ・サティヤ・サイ・スペース・シアター（プラネタリウム）



シュリ・サティヤ・サイ・スペース・シアター（プラネタリウム）は、教育目的でプラネタリウムを導入した国内初の大学であるシュリ・サティヤ・サイ大学と提携しています。1985年11月22日にババによって落成式が執り行われたこのプラネタリウムは、定員200名で、天文学、数学、物理学、その他の学科の基本事項の理解を高め、興味を増進させる役割を果たしています。2002年には、プラネタリウムの制御システムがアップグレードされ、完全にコンピュータ化されました。2011年には、ミラードーム技術を用いたフルドーム投影システムが採用されています。

利用時間

11月23日、4月24日、1月11日を除く毎日、午前10時30分から午前11時まで上映を行っています。入場は先着順です。入場は午前10時から可能ですが、10時30分を過ぎたら入場できません。

120名を超える団体が特別上映を希望する場合は、事前にパブリック・リレーションズ・オフィスまでご連絡ください。上映中は、英語、ヒンディー語、テルグ語、その他の言語の解説をヘッドホンで聴くことができます。上演プログラムにはさまざまなバリエーションがあります。現在予定されているプログラムやその他の情報は saispace.in でご確認ください。

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます。\)](#)

スーパー・スペシャリティ・ホスピタル（特別専門病院）



スーパー・スペシャリティ・ホスピタル（特別専門病院）とも呼ばれている、シュリ・サティヤ・サイ高等医療機関（SSSIHMS）は、230床を有し、カースト、信条、経済状態、人種、宗教に関係なく、すべての人に三次医療レベルの質の高い医療を完全無料で提供している特別専門病院です。ここでは、心臓科、心臓・胸部血管外科、泌尿器科、眼科の各分野で無料の医療奉仕が行われています。この病院は、1991年11月22日、ババの66回目の誕生日を祝う前夜に、ババの臨席のもと、当時のインド首相によって落成式が執り行われました。

この建物は人々から「癒しの寺院」と呼ばれています。その理由は、ユニークな建築様式と、院内に満ちている愛と平安の雰囲気にあります。病院の中央には高さ90フィート（約9メートル）の巨大なドームがあり、その下は祭壇が設けられた祈りの間となっています。神と交わり、癒しと安らぎを得るために、多くの人がここを訪れます。

開館時間

面会・見学は平日の午後12時30分から午後2時30分まで。

診察を受ける場合は事前予約が必要。

日曜・祝日は休診。

詳細は病院広報室まで問合せください。電話番号 08555 287388（内線：508）

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

シュリ・サティヤ・サイ・ヒル・ビュー・スタジアム



このスタジアムでは、毎年1月11日に、サイの学生たちによる「スポーツと文化の祭典」の開会セレモニーが行われます。ババの降誕祭に関連した多くの行事もまた、ここで行われました。観客席には約3万人を収容することができます。1997年12月30日にはここで、シュリ・サティヤ・サイ・ユニティ杯クリケット試合が行われ、サチン・テンドルカールが率いるインドIA 11チームと、アルジュナ・ラナタンガが率いるワールド 11チームが対戦しました。

スタジアムを見下ろしているのは、クリシュナ、シルディ・サイ・ババ、シヴァ、仏陀、ゾロアスター、イエス・キリストなどの、偉大な霊性指導者やアヴァターの像です。シヴァ神像の後方には、人工滝が、シヴァ神の髪から流れ出すガンジス川のように、丘に流れ落ちています。最も高い丘の頂上には、ババの降誕65周年を記念して建てられた、高さ65フィート（約20m）のハヌマーン像が立っています。

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

サティヤ・サイ・ババの生誕地（シヴァラヤム）



ババが1926年11月23日（ヒンドゥー暦によれば伝統的にシヴァ神に礼拝を捧げる日であるカールティカ・ソーマヴァラ）に生まれた生家があった場所には、現在シヴァラヤム（シヴァ寺院）が建っています。この寺院は1979年にババによって落成式が執り行われました。寺院の中には白大理石製の美しいシヴァ神像があり、毎朝、毎夕に礼拝が捧げられています。毎週月曜日には、シヴァ神像へのアビシェーカム（神像に神聖な液体をかける儀式）が行われます。（月曜日はシヴァ神に礼拝する聖なる日と考えられています）

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

ババのご両親の霊廟（サマーディ）



バガヴァン ババの父ペッダ・ヴェーンカマ・ラージュと、母イーシュワランマは、この神聖なる霊廟（サマーディ）に埋葬されています。母イーシュワランマの命日である5月6日は、毎年イーシュワランマの日として祝われています。この日にはサマーディにおいて、バジャンとナーラヤナ・セヴァが行われます。

開門時間

午前9時30分～午前11時30分

午後4時30分～午後6時30分

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

ダッタートレーヤ寺院



プラシャーンティ・ニラヤムにはダッタートレーヤ神を祀る美しい寺院があります。ダッタートレーヤ神の帰依者たちの祈りに応えて、ババは1986年1月13日にこの寺院を落成しました。この寺院では、ダッタートレーヤ神は、ナヴナート・サンプラダヤ（ダッタートレーヤ神から秘儀を伝授された9人のグルの集団）に囲まれて、憂曇華の木の下に座っています。

参拝時間

午前9時30分～午前11時30分、午後4時30分～午後6時30分

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

ヴェーヌゴーパーラスワミー寺院



これは、クリシュナ神を祀る寺院です。牛飼いたちの間で育てられたクリシュナは、愛情を込めてゴーパーラと呼ばれています。この寺院の歴史は複雑で、プッタパルティに伝わる伝説と関連しています。小さな寺院ですが、村人にとっては極めて重要な存在です。

プッタパルティ村に伝わる伝説

昔、昔のこと、プッタパルティはゴーラパツリと呼ばれていました。テルグ語でゴーラは牛飼、パツリは村を意味します。その名の通り、この村には牛飼いがたくさんいて、繁栄していました。しかしある時、不幸な出来事が起こりました。一頭の牝牛からまったく乳が出なくなったのです。不思議に思った牛飼いが牝牛を見張っていると、牝牛は仔牛を残して牛小屋から抜け出し、村はずれの蟻塚へと向かって行きました。一匹のコブラが蟻塚の中から現れ、牝牛の乳を飲み出しました。怒った牛飼いはコブラに石を投げつけました。瀕死のコブラは村に呪いをかけた後、絶命しました。その結果、村の牛が次々と病気になって死に、村は蟻塚だらけになってしまいました。村はヴァールミーキプラと呼ばれるようになりました。サンスクリット語でヴァールミーキは蟻塚、プラは村を意味します。これをテルグ語で言い換えたのが現在の名前、プッタパルティなのです。村人たちは、死んだコブラの怒りをなだめるために、その血まみれの石を寺院に安置し、崇めるようになりました。ある時、バガヴァンが村人たちに、その石をきれいに洗って、サンダルウッドのペーストを塗るようにと指示されました。そのとおりにすると、石の表面に、笛を手にしたクリシュナ神（ヴェーヌゴーパーラ）の姿が浮かび上がりました。寺院はヴェーヌゴーパーラスワミー寺院と呼ばれるようになりました。コブラの呪いは解け、村には再び牛が増えていきました。

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

サッティヤンマ寺院



この寺院は別名「サッティヤバーマ寺院」とも呼ばれており、母なるサッティヤバーマ（クリシュナ神の妻）礼拝するための寺院です。母なるサッティヤバーマに捧げられた寺院は、インドの他の場所にはほとんどなく、他に類を見ない珍しい寺院であると言えます。

この寺院は、信仰深いラトナーカラム・コンダマ・ラージュ（ババの父方の祖父）によって建てられました。コンダマ ラージュは、奇妙な夢の中で起こった出来事によってこの寺院を建立するに至ったと語っています。

コンダマ ラージュの見た夢

コンダマ・ラージュは、一人でクリシュナの帰りを待ちながら、絶望感にさいなまれているサッティヤバーマの夢を見ました。クリシュナは誰もが欲しがる「パリジャータ」の花を、サッティヤバーマに持って来るために出て行ってしまったのです。時間が経ち、何日か経っても、クリシュナが帰ってくる気配はありません。サッティヤバーマは泣き出してしまいました。続いて、雷と大雨を伴った大嵐がやってきました。幸運にも、その場をコンダマ・ラージュが通りかかりました。サッティヤバーマはコンダマ・ラージュに避難所を提供して欲しいと頼みました。それでコンダマ・ラージュはクリシュナの配偶者を祀る寺院を建てることを決意したのです。

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

ハヌマーン寺院



ハヌマーン寺院は、ゴープラム ロードの北端にあります。この寺院は、ババの幼少時代に起こった珍しい出来事と関連があります。

ある日のこと、幼いサティヤとその友人たちがこの寺院を訪れ、いつものように、聖所の周囲を回り始めました。彼らは一度回った後、もう一度回ろうとしました。するとサティヤが突然停まってしまい、根が生えたかのように、その場に立ち尽くしてしまっただけです。それはまるで、何か見えない力が働いているかのようでした。何人かの力持ちの少年がサティヤを動かそうとしましたが、無理でした。啞然とした仲間たちに、サティヤは、ハヌマーンが背中を押さえているのだと説明しました。そしてサティヤがその言葉を口にした途端に、ハヌマーンがサティヤの足をしっかりと押さえて「主よ。私こそがあなた様の周りを回るべきなのです」と言っている様子が、他の少年たちにも見えるようになったのです。

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

ヴァータ・ヴリクシャ（瞑想の木）



瞑想の木は、1959年6月29日にババが植えたバニヤンの木で、その下に神秘的な印が描かれた銅板（ヤントラ）が埋められています。この「ヤントラ」は約15インチ×10インチの大きさで、1959年4月のある日、ババが当時よく行っていたように、何人かの帰依者と共にチットラーヴァティー川のほとりに行った際に、その川の砂から物質化したものです。「ヤントラとして知られるこのようなプレートは、心の集中と感覚のコントロールを助けるため、瞑想の助けとなります」とババは述べています。ババはまた「この木は、精神的な探求において一定の到達レベルに達したヨーギ（霊性修行者）たちを魅了するでしょう」とも宣言しました。

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

カルパタル（願望成就の木）



カルパタル（願望成就の木）とは、チットラーヴァティ川の左岸にある「オブラデヴァラ・グッタ」と呼ばれる丘の頂上に立つタマリンドの木のことです。若い頃のババは、この丘の頂上に帰依者たちを連れて行き、彼らが希望したさまざまな果物を、この木から摘み取りました。この木はババのリーラー（神聖遊戯）の道具となったのです。（雷に打たれたため、現在はネットで覆われています）。

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

シュリ・サティヤ・サイ国際スポーツ・センター



2006年11月22日、当時のインド大統領A・P・J・アブドゥル・カラム博士によって、オリンピックレベルの屋内競技場、シュリ・サティヤ・サイ国際スポーツ・センターの落成式が執り行われました。

このスタジアムのサイズは100メートル×60メートルで、4.8エーカー（約1.8万平米）の敷地内に建てられており、オープンフレームのスペースドームとしては国内最大級です。バスケットボール、バレーボール、テニス、スカッシュ、卓球、バドミントン、体操、ヨーガ、エアロビクスの設備を備え、4千人の観客を収容できます。この施設は、セントラル・トラストが運営するサティヤ・サイ教育機関のスタッフと学生専用です。

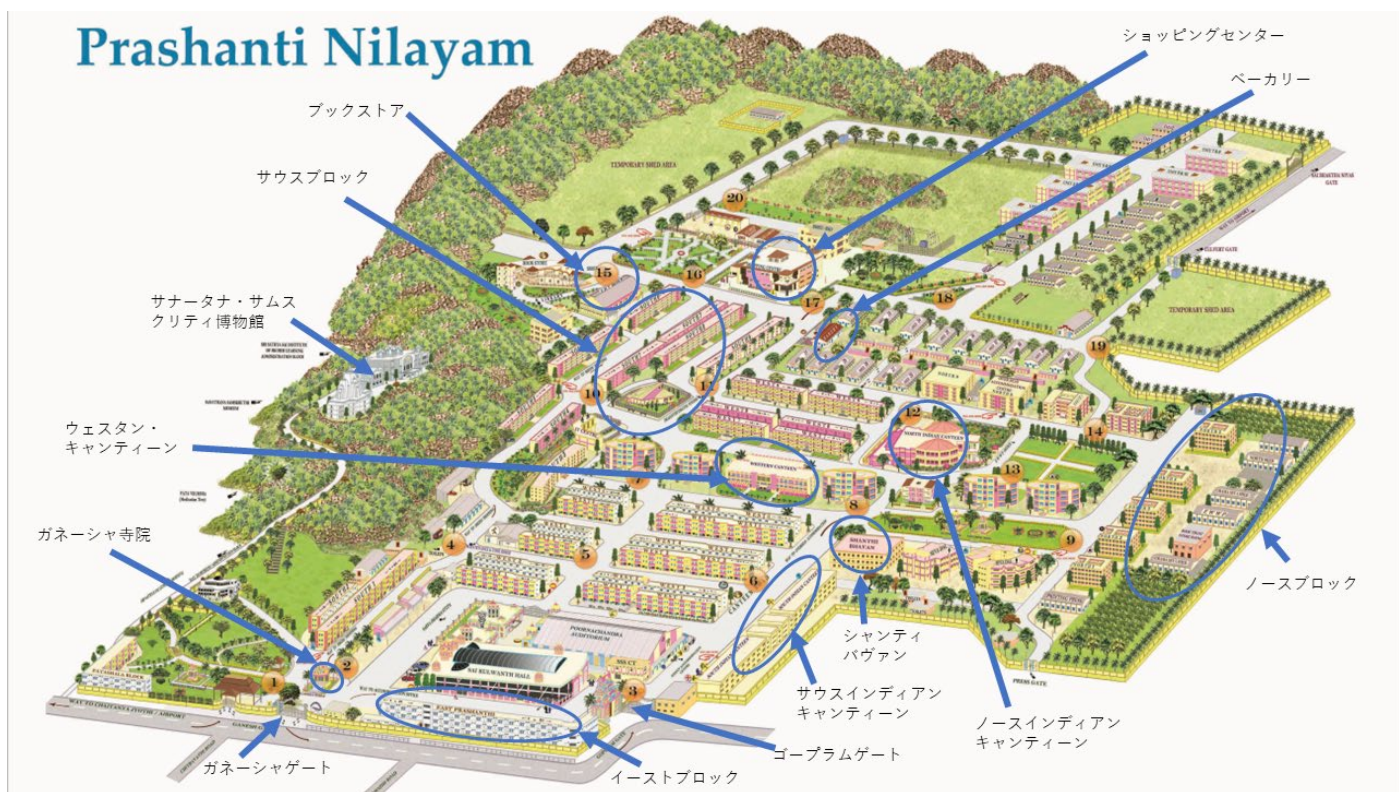
午前10:00から11:30まで館内を見学することができます。ババの教育理念とプロジェクトが展示されている記念館も、上記の時間内に見学することをお勧めします。

見学時間

午前10:00～午前11:30

[場所\(クリックすると Google Map が表示されます\)](#)

ブラシャーンティ・ニラヤムの地図



プラシャーンティ・ニラヤム アシュラム地図

